

おすすめの図書

佐藤勝彦著

河出書房新社／2020年10月23日

単行本／194p／1,540円（税込）

『科学者になりたい君へ』 （14歳の世渡り術）



鳥取大学工学部電気情報系学科の笹岡です。今日は東京大学名誉教授の佐藤勝彦先生が書かれた「科学者になりたい君へ」という本を紹介します。この本は、14歳の世渡り術というシリーズの一つですので中学生を対象に書かれていますが、高校生、大学生、すでに研究を頑張っている大学院生にも一度読んでほしい本です。

さて、皆さんに伺います。何のために大学に進学するのですか？ 将来になりたい職業がある、こういう会社に就職したい、こんな勉強がしてみたい、大学に入って将来を考えたい。大学へ進学する理由は一人一人違うかと思います。でもなぜ大学で勉強するのでしょうか？

高校での勉強と大学での学問の違いってあるの？
高校の勉強の延長線上に大学の勉強があるだけじゃないの？
大学や大学院で何を身につけた方が良いの？
大学で習った内容と関係のない会社に就職したら
大学での勉強は無駄になるの？
研究って何？
そもそも科学ってなんだっけ？

また、学生さんからしたら、大学の先生は講義以外にどんな仕事をしているの？ と思っているかもしれません。大学に関するいろんな疑問に一つ一つ丁寧に答えてくれるのが本書です。

（鳥取大学 笹岡直人）